

東大阪市第3次総合計画基本構想(素案)にかかる意見

資料1

ページ	項目	意見の内容	対応
照会 P. 3	●2. 計画の期間	総合計画の期間(図)で、実施計画(3年間)の矢印の長さを3年ごとにそろえてはどうか。 また、案のまま3年としたときに最終年度が1年余るので、実施計画の年度を2年にするなど変更できないのか。	・総合計画の期間の図は、イメージとして示したものです。 ・実施計画の期間は3年間なので、10年間を単純に3で割ると最終1年余ることになりますが、その運用については検討します。
照会 P. 4	●1. 交通利便性に優れたまち	「東大阪市の交通網図」に、近鉄新駅だけでなく、モノレール新駅も記載すべきではないか。	・ご意見を踏まえ、モノレール新駅も記載します。
審議会 P. 4		・東大阪市の特徴に歴史の観点をに入れてほしい。日下町には神武天皇のルーツがある。	・東大阪には深い歴史がありますが、将来まちづくりを示すうえで踏まえるべき事項となるほどの歴史資源は残っておらず、また宗教色に関わる部分もあるため、表現することは難しいと考えます。
照会 P. 4-5	●1. 交通利便性に優れたまち ●2. モノづくりが盛んなまち	P.12では「交通利便性が高いまち」との文言が使われており、どちらかの文言に統一できないか。 P.12、19、21、22では「モノづくりのまち」との文言が使われており、どちらかの文言に統一できないか。	・「交通利便性が高いまち」に統一します。 ・「モノづくりのまち」に統一します。
照会 P. 4-6	●第1節 東大阪市の特徴	本市の特徴について第2次総合計画(後期基本計画)では図表を用いるなど具体的に記載されており、わかりやすい記載内容となっております。同様に、本総合計画でも本市の特徴をもう少し具体的に・視覚的に記載できないでしょうか。	・図表を用いた具体的・視覚的な表現については、製本デザイン等の段階で、可能な限りわかりやすく表現するようにいたします。
審議会 P. 5		・大学のまちについて、幼小中高大、すべてそろっていることを背景に、子育て世代が安心して住めることを記述してはどうか。	・幼小中高大といった教育機関はそろっていますが、一貫教育などの連携はとっておらず、子育て世代が安心して住めるという観点からは少し飛躍する感があるため、現在の記述のままとします。
照会 P. 5	2. ラグビーのまち ↓ 2. ラグビーのまち、そしてスポーツのまちへ	“ラグビーのまち”という項目ですが、追加文案をご参考にスポーツのまちについて触れていただきたい。 文案:また本市では、ラグビーをはじめとするスポーツが地域活性化に果たす役割に着目し、スポーツを活用したまちづくりを推進しています。	・文案を参考に修正します。
照会 P. 6	5. 文化のまち	1行目:宮本順三さんの肩書きは「おもちゃデザイナー・洋画家」に変更。 3行目:井山裕太さんの部分は平成30年2月に国民栄誉賞を受賞されておられることについて触れなくてもよいか。 5行目:「近年は、…」の後に『司馬遼太郎記念館や周辺の街角、通りを菜の花で彩る「街に菜の花を咲かせよう 2.12菜の花忌」運動や』を追加。 6行目:「粉ものに代表される食文化」については大阪全体のことであり、また文化政策ビジョンでも食文化について記載はないため、削除してはどうか。 全体:敬称はつけなくてもよいか。	・1行目、3行目、5行目、6行目については、ご意見を踏まえ修正します。 ・敬称として名前に「氏」をつけます。
照会 P. 6	●6. 人が集まるまち	「…、多くの事業所や大学が…」とあるが、P.11でも同内容の記載があり、ここでは「…多くの事業所や学校が…」とあるので、文言を統一できないか。	・「多くの事業所や学校」に修正し、文言を統一します。
照会 P. 7	●人口の減少は様々な場面で社会に大きな影響を及ぼす	「地域を支える担い手の減少による地域力の弱まりなどの生活面」という表現は消極的に感じられるため、「長期的に見れば地域を支える担い手の減少による生活面」等の表現に留めるべきではないか。	・長期的に見たうえで懸念される課題について記しているため、文案のままとしています。
照会 P. 7-8	●人口ピラミッドの推移、人口増減率の図示について	2040年ではなく、目標年次であるR12(2030)年との比較をすべきではないのか。	・将来の人口構成の変化を見据えた上で、2030年で目指すべきまちの姿を示すものとして本計画を策定することから、2040年における人口の状況を示しています。

ページ	項目	意見の内容	対応	
委員会	P. 9	子どもたちの体力と学力は大阪府平均を下回る	・かなりの分量を使って記載しているが、どうなのか ・学力調査の成績は、子どもが置かれている経済状況と非常に相関関係が深い。東大阪市の学校・学生は自分達の置かれた環境条件と非常に一生懸命戦っている、努力している	・表現を修正します。
審議会	P. 9		・「健やかな体」「豊かな心」への対応はできているが、「学力」の部分ができていない。学力に関する記述を文末に移動させて「学力の向上に取り組む」ことがわかるようにしてほしい。P25も同様である。	・ご意見を踏まえ修正します。
照会	P. 10	●高齢化率は年々上昇し、76歳以上人口の急増や高齢者単身世帯の増加が見込まれる	「人材確保や社会保障費の負担増加など」という表現を「人材確保が困難になるとともに、社会保障費の負担が増加するなどの」と変更すべきではないか。	・ご意見を踏まえ修正します。
照会	P. 10	●高齢化率は年々上昇し、76歳以上人口の急増や高齢者単身世帯の増加が見込まれる	「地域社会を支える人が不足」することが、直ちに「地域コミュニティの維持が困難になること」というものではないため、「長期的に見ると地域社会を支える人が不足すること」等の表現に留めるべきではないか。	・長期的に見たうえで懸念される課題について記しているため、文案のままといたしません。
委員会	P. 10	高齢者を取り巻く状況	高齢者が増えることがマイナスであるというネガティブな感じがする。例えば、愛ガードなど地域の活動は高齢者の方にたくさんやっていただいている。活躍されていることに触れず、増えることがマイナスになるという、こういう書き方はいかがなものか。	・高齢者の活躍や、元気な高齢者が増えている現状についても触れるよう、記述を修正します。
照会	P. 11	●高齢者が地域社会を支え、元気に活躍する環境づくりが必要	高齢者の活躍が必要という内容だけでなく、高齢者の現在の活躍状況についても触れるべきではないか。	・高齢者の現在の活躍状況についても触れるよう、記述を修正します。
照会	P. 11	●高齢者が地域社会を支え、元気に活躍する環境づくりが必要	「高齢者を取り巻く状況」の記載では、医療や介護ニーズの高まりによる人材確保等の課題に触れているが、高齢者が知識や経験を生かして活動する場面は、介護にとどまらない幅広い場面を想定していると理解してよいか。	・ご意見のとおり、高齢者が培ってきた知識や経験を生かして、介護だけでなく様々な場面で活躍することを想定しています。
審議会	P. 11		・交流、生きがいとあるが、どのような交流・生きがい、高齢者がみてもわかるようなコメントを追記してはどうか。	・高齢者の地域の人々との交流にも触れるよう、記述を修正します。
照会	P. 12	●まちの活気を生み出すため、訪れる人・関わりを持つ人を増やす環境づくりが必要	人口減少が進むなかでも、まちの活気を生み出すために、通勤・通学をはじめ、観光やビジネス目的などで本市を訪れる人や、本市に関わりや関心を持つ人を増やすことが求められます。そのためには、交通利便性が高いまち、モノづくりのまち、大学のまちといった本市が持つ資源を生かし、新しいビジネスが起ししやすい環境づくり、主要駅等を核とした拠点づくり、良好な都市空間づくり、効果的な情報発信など、訪れる人を受け入れる環境づくりや関心を持ってもらうための取り組みが必要です。	・ご意見を踏まえ修正します。
照会	P. 12	●大阪モノレールの南伸に向けた取り組みが進む	本文中、「JR学研都市線」とあるが、正式名称である「JR片町線」とすべきではないか。	・正式名称はJR片町線ですが、愛称である「JR学研都市線」が浸透しているため、JR学研都市線と表示します。
照会	P. 15	●「ずっと住み続けたい」と思う市民の割合は半数以下	「本市市民の定住意向の低さがうかがえます」とありますが、その原因、考察を含むべきではないか。	・定住意向の低さについて、昨年実施したアンケートではそこからさらに突っ込んだ質問はしていないため、その原因を把握していません。総合計画の中では原因、考察についての記述はしませんが、今後対策を検討する必要があると考えています。

ページ	項目	意見の内容	対応
委員会 P. 15	犯罪認知件数	・「防犯灯、防犯カメラの設置」とあるが、現在設置していない。 ・現在ひったくりは多くない。今はかなり減ってきて、警察や、市長も先頭になって進んで取り組んでいるのに、こういう書き方は非常にしんどい	・「防犯灯、防犯カメラの設置」は現在していないという状況を踏まえ、記述を修正します。 ・ひったくりは減っているという現状を踏まえ、記述を修正します。
照会 P. 15	●市のまちづくりの中で「災害に強く、安全で安心できるまち」を求める声が多い	現在、市では自治会が設置する防犯灯に対して補助金を交付している。素案の内容では、市が防犯灯を設置していると誤解をあたえる可能性があるため「自治会が設置する防犯灯に対して設置費の補助を実施」等の文言に変更するべきである。	・防犯灯についての記載は削除いたします。
照会 P. 15	●市のまちづくりの中で「災害に強く、安全で安心できるまち」を求める声が多い	下から6行目「また～」の一文について、大阪府下全体で犯罪認知件数がH25年(151,241件)からH30年(95,443件)にかけて約2/3へと減少する中、本市においても大阪府平均と同様に犯罪認知件数の減少(9,039件→5,831件)を達成しているため、そのように表現してもらいたい。 (修正例)「また、大阪府下全体における治安対策等により、犯罪認知件数がH25年(151,241件)からH30年(95,443件)にかけて約2/3へと大きく減少する中、本市においても大阪府平均と同様に犯罪認知件数の減少を達成しております。」	・ご意見を踏まえ修正します。
照会 P. 16	●市のまちづくりの中で「災害に強く、安全で安心できるまち」を求める声が多い	P15への意見と同様に、表く本市の犯罪認知に関する状況について、実態を表せていないと思われるため、表現の工夫をお願いしたい。	・ご意見を踏まえ修正します。
照会 P. 17	2章 第3節 今後の東大阪市を取り巻く環境の変化	「東大阪市」を取り巻く環境の変化、ということですが、特段、東大阪市との関連性がよく分からないので、この位置に記載されていると、やや浮いているような印象を受けました。	・示した内容は、東大阪市に限らず広く自治体に関係する内容であるので「今後の自治体を取り巻く環境の変化」に修正します。
照会 P. 19	3章 第1節 将来都市像	・「感動創造都市」「躍動都市」という言葉が抽象的で、この先10年の「本市の重点施策」の方向性との関連がイメージしにくいように感じました。また、漢字なので固い印象を受けました。	・将来都市像に関するご意見の一つとして承ります。
照会 P. 21	大阪モノレールの門真市駅から(仮称)瓜生堂駅までの南進により、大阪国際空港、関西国際空港といった広域都市間アクセスがさらに充実します。	関西国際空港までモノレールは到達していないので、関西国際空港は記載しないほうがよいのではないかと。	・ご意見を踏まえ修正します。
照会 P. 21	●都市将来像の実現に向けて、・・・	モノレール南伸によって関西国際空港へのアクセスが充実するように読めるので、文章構成を修正されてはいかかか。	・ご意見を踏まえ修正します。
照会 P. 21	●土地利用の方向性①にぎわいのある拠点の創出	このような状況をふまえ、長田・荒本駅周辺エリアを「市の中心拠点」として位置づけ、市内から人が集まるだけでなく、交通の要衝地としての特性を生かし「関西の中心」として、広域・近隣から人が集まる場所となるよう、良好な景観形成及び商業・業務機能の強化、宿泊、飲食をはじめとした来訪者受入環境や居住機能の拡充を図ります。	・ご意見を踏まえ修正します。

ページ	項目	意見の内容	対応
照会 P. 21	●大阪モノレールの南伸整備や、既存の… 【長田・荒本駅周辺エリアを…】	長田・荒本駅の北側一帯は流通業務地区・団地の都市計画が定められており、施設の立地規制が敷かれている現状を記載しなくてよいか。 また、「市の中心拠点」、「関西の中心」として位置付け、居住機能等の拡充を図るのであれば、流通業務市街地を縮小する検討をするのか、共存させていくのか方向性を具体的に示すべきではないか。	・個別の規制内容についての方向性を記載するのではなく、その地域が目指す方向性として土地利用の方向性を示しています。
照会 P. 21～ 22	●土地利用の方向性① にぎわいのある拠点の創出	最後の結論部分に、若者・子育て世代の増加を目指すことを追加してはどうか。	・土地利用の方向性として、若者・子育て世代の増加を目指すことのみが目的ではないため、記載の追加はしません。
照会 P. 21～ P. 22	土地利用の方向性①	東大阪市総合交通戦略によるモノレール関連事業の補助採択のため、近畿地方整備局と協議を行った際、瓜生堂地区の交通拠点としての位置付けが明確でないと指摘を受けているところである。今後実施するモノレール関連事業費約150億円の財源となる補助採択の可否に関わる部分であるため、瓜生堂地域の位置づけについては是非考慮いただきたい。【別添DW文書あり】	・瓜生堂地区の記述について、ご意見を踏まえ修正します。
照会 p. 22	土地利用の方向性②工業集積地の保全	「工業地には、工業団地のように工場のみが集積する地域もありますが、～」 文章中の工場のみ「のみ」を削除してください。	・ご意見を踏まえ修正します。
照会 P. 22	●土地利用の方向性③ 災害に強く、良質な住宅地の形成	さらに、住宅地の良好な景観の形成や緑化推進を図るとともに、大規模公園等の「みどりの拠点」をはじめとしたレクリエーションの場の充実や、駅周辺の商業施設等をはじめとした生活利便機能の維持を図ります。	・ご意見を踏まえ修正します。
照会 P. 22	●モノづくりのまちとして、…	「モノづくりのまち」を維持・継承していくため、高井田、加納を「工業集積重点ゾーン」として位置づけているが、水走の特別用途地区(工業保全地区)についても追記できないか。	・工業集積重点ゾーンは水走の特別用途地区も含む形で位置づけています
照会 P. 22	●モノづくりのまちとして、工業集積地の保全をめざします。	前回に意見を言うべきであったが、下から3行目の「(高井田周辺では)住工共生に配慮した保全」という表現となっているが、次の項目の3行目には「(全市域を対象として)住宅と工場などの土地利用の混在の解消」という表現となっており、矛盾が生じている。	・工業地として保全すべき地域では、操業環境にも配慮するという事で「住工共生」を、住宅地として保全すべき地域では住環境へ配慮するという事で「住工混在の解消」に努めるものとしています。
照会 P. 24	重点施策2「高齢者が活躍するまちづくり」	「高齢者を取り巻く状況」の記載では、医療や介護ニーズの高まりによる人材確保等の課題に触れられているが、高齢者が知識や経験を生かして活動する場面は、介護にとどまらない幅広い場面を想定していると理解してよいか。	・ご意見のとおり、高齢者が培ってきた知識や経験を生かして、介護だけでなく様々な場面で活躍することを想定しています。
照会 P. 24	重点施策3	1行目:「文化活動」については文化芸術基本法に合わせて「文化芸術活動」と表記するのがいいのではないか。	・ご意見を踏まえ修正します。
照会 P. 24	4章 重点施策の方針	3つの重点施策の一つとして、「高齢者の活躍」を、他の2つの重点施策と並べて大きく掲げているのはなぜですか？ 「高齢者が活躍できるまち」は素晴らしいですが、2章第2節で、生産年齢人口の減少や、本市住民の定住意向の低さについて言及しており、事実、そこが本市の主要課題に思えます。重点施策とは、「人口減少社会への対応に関する施策」ということなので、あえて「高齢者の活躍」だけをとりたてて重点施策とするよりも、「いつまでも安心安全で暮らせるまちづくり」というような観点が欲しいです。そこには、「まちづくりアンケート」でも上位である、「災害に強く、安心で安全できるまち」や、「高齢者や障害者にやさしいまち」という視点も含まれます。	・高齢化率が上昇傾向にあるなか、若者・子育て世代に選ばれるまちであることも重要ですが、元気な高齢者が活躍し、地域社会を支えるという視点が、若者・子育て世代に選ばれるまちを実現するためにも重要になってくると考えています。そこで今後10年間で特に力を入れて取り組むべき重点施策として、高齢者の活躍を打ち出しています。 ・安全・安心に暮らせるための施策は現在も実施していますが、今後も引き続き行っていく必要があると考えており、基本施策の中で記載していきます。

ページ	項目	意見の内容	対応
照会	P. 24	重点施策3 市内の経済活動についても、産学官連携や起業支援の強化により、さらなる活性化をめざします。	起業支援の強化とあるが、市が主体となって実施している補助金制度は無いため、このような書き方で良いか。 ・現在実施していないということですが、事業所数が減少するなか起業をしやすい風土づくりは、市の活性化のために必要と考えています。
照会	P. 25	施策6	東大阪市総合交通戦略によるモノレール関連事業の補助採択のため、近畿地方整備局と協議を行った際、瓜生堂地区の交通拠点としての位置付けが明確でないと指摘を受けているところである。今後実施するモノレール関連事業費約150億円の財源となる補助採択の可否に関わる部分であるため、瓜生堂地域の位置づけについては是非考慮いただきたい。【別添DW文書あり】 ・瓜生堂地区の記述について、ご意見を踏まえ修正します。
照会	P. 25	施策4	1行目:「文化活動」について、上記と同じ。「文化活動」については文化芸術基本法に合わせて「文化芸術活動」と表記するのがいいのではないか。 ・ご意見を踏まえ修正します。
照会	P. 25	●施策1 人権・共生・協働	本市が大学のまちであることを示すためにも「民間企業・団体など」の表記を、「民間企業・大学・団体など」としてはどうか。 ・ご意見を踏まえ修正します。
照会	P. 25	施策6 都市・環境	「環境への負担」 → 「環境への負荷」 ・ご意見を踏まえ修正します。
照会	P. 26	施策7 防災・治安	2行目に書かれている以外にも具体的な事業はもっと多くあるため、地域での防犯活動だけ取り上げることは違和感がある。 施策1～6とのバランスもあり、すべての事業の列挙は難しいと思うので、包括的な表現にいただきたい。 (修正例)「あらゆる自然災害や事件・事故等の危機事象に対して適切に対応し、市民の生命と財産を守るための危機管理体制の構築に努め、安全・安心なまちづくりを推進します。」 ・ご意見を踏まえ修正します。
照会	P. 26	施策7 防災・治安	市民の意識高揚について、防犯だけでなく「防災」も入れるべきではないか。 ・危機管理室からの意見と調整を図りながら検討します。
委員会	全般	・鉄軌道は重点を当てて買っているが、東地域は交通にバスは欠かせない。瓢箪山がにぎわい拠点とあるが、バスロータリーは東花園に移る。高齢者の運転問題もある。バスに関する言及がほぼない。	・路線バスについて、新規路線が開通する一方、全体としては利用者減少に伴い減便や路線廃止が進んでいる状況であり、基本構想でバスについて言及するのは難しいと考えます。
審議会	全般	・長く住んでもらうためには、東大阪市の魅力を高め、都市間競争に勝てるようになることが必要である。	・「若者・子育て世代に選ばれるまち」として、現状に向き合い、特長を伸ばすことで、魅力的なまちを目指す旨を記載しています。
照会	目次	目次	2章に「第3節 今後の東大阪市を取り巻く環境の変化」が抜けています。 ・ご意見を踏まえ修正します。